

《現状・担当者の課題》

地域・学校現場の外国人児童生徒の
在籍状況や支援体制
教員・支援者が直面する問題や困難

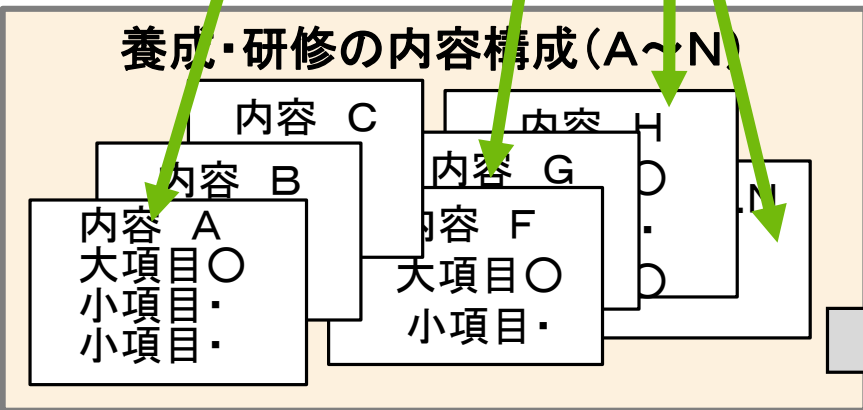
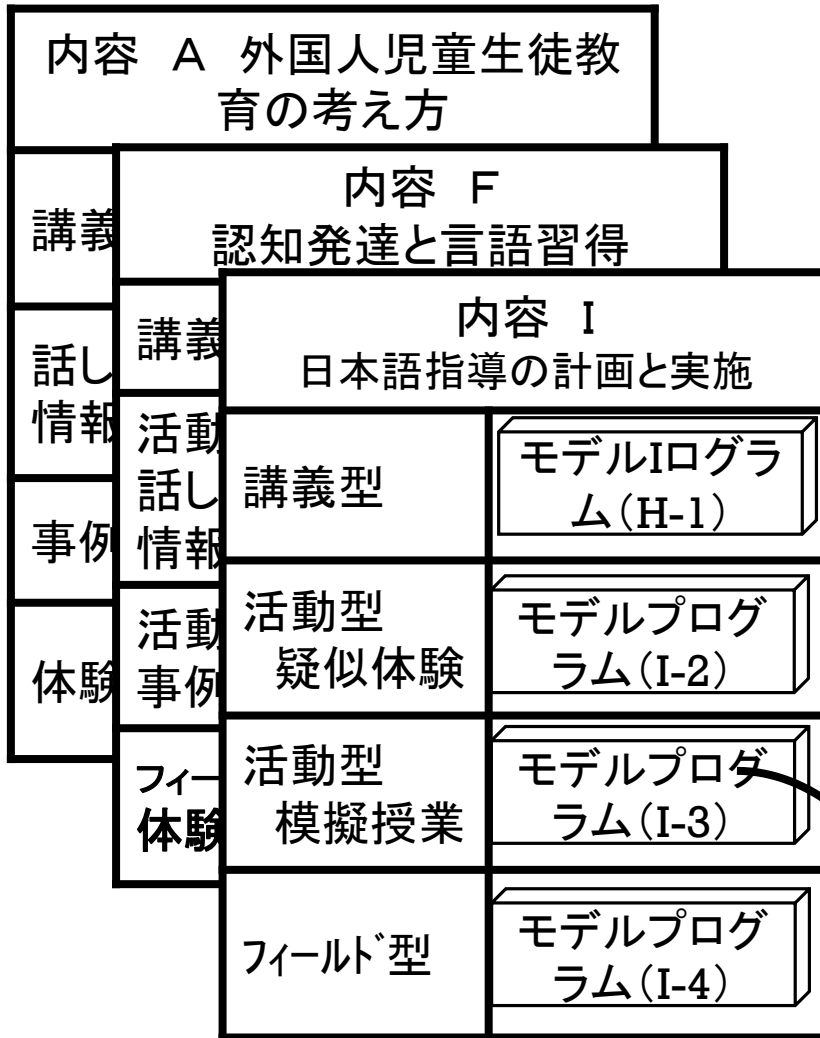
成果を「資質・能力モデル」
に照らして評価

目的: ○○○○○○
対象: ××××
時間: ○時間

具体的な目的・実施条件に
応じてプログラムを組み合
わせカリキュラムを作成する

《豆の木モデル》資質・能力の4要素と課題

資質・能力	課題領域
捉える力	子どもの実態の把握 社会的背景の理解
育む力	日本語・教科の力の育成 異文化間能力の涵養
つなぐ力	学校づくり 地域づくり
変える／ 変わる力	多文化共生社会の実現 教師としての成長



A~Nに対応する多様な方法・形態
のモデルプログラムを参照

